



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2221 URL <https://www.iwatsukaseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 阿部 雅栄 TEL 0258-92-4111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,854	△3.1	5	—	1,900	33.4	1,303	35.6
2019年3月期第2四半期	11,202	△4.0	△100	—	1,424	61.7	961	78.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,240百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 5,588百万円 (335.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	232.55	—
2019年3月期第2四半期	171.50	—

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり四半期純利益の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	73,661	54,958	74.6	9,807.55
2019年3月期	76,525	56,322	73.6	10,051.01

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 54,958百万円 2019年3月期 56,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	2.7	480	—	2,750	45.9	1,950	48.7	347.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,995,000株	2019年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	391,295株	2019年3月期	391,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,603,705株	2019年3月期2Q	5,603,767株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化に伴う世界経済の減速懸念等から景況感が悪化、今後も引き続き内需の下支えが期待されるものの、消費増税の影響や長引く日韓関係悪化などは予断を許さず、下振れ懸念が強まる局面が続くものと見られております。

米菓業界におきましては、原材料や物流費等のコストアップが響いているなか、消費増税前にあつて価格競争が一段と激化するなど低価格路線が鮮明になってきており、厳しい事業環境が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループはあくまでも品質を重視していく方針にあり、今年度からの新たな中期経営計画『プライド・BEIKAプラン』により持続的成長の実現に向けた基盤づくりに注力してまいります。とりわけ新工場「BEIKALab」の建設により、スピーディーな商品開発を目指すとともに、主にもち製品の生産能力増強を図る計画にあり、今年度中に着工する予定であります。

営業部門では、国産米100%使用をアピールした売場づくりを工夫するなど価格外での差別化を強化し、引き続き岩塚ブランドの浸透に努めるとともに、特にTOP6商品の伸長に注力してまいりました。

製造部門では、原料資材費、物流費等のコストアップ要因を吸収するため、引き続き生産品目の絞込みによる生産効率の向上に努めたほか、積載方法の見直しによる物流コストの削減に取組み、原価低減を図ってまいりました。また、ごみ排出量を減らし環境負荷を軽減するため、一部商品においてプラスチックトレーを廃止しております。

また、当社グループの情報発信を目的として長岡駅ナカ店舗「LACOTE Iwatsuka (ラコテ岩塚)」を新たにオープンいたしました。「米菓」から「BEIKA」へのコンセプトの下、地元の米や米菓の文化を広め、お客様との体験型「ふれあい」創造の場を目指しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、前年同期間比減収増益となりました。売上高は108億54百万円(前年同期間比3.1%減)と減収となり、第2四半期の3ヶ月間では前年を上回るなど上向き傾向にあるものの、厳しい価格競争のなか第1四半期の落込みをカバーするに至りませんでした。このため、営業利益は、製造・販売コストの削減に努め前年に比べ良化しているものの、5百万円(前年同期間は営業損失1億円)を計上するに留まりました。また、経常利益は19億円(前年同期間比33.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億3百万円(同35.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は736億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億63百万円の減少となりました。

流動資産は80億57百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億48百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が10億48百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は656億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して37億11百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価等により36億50百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は187億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億99百万円の減少となりました。

流動負債は、27億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億77百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が81百万円及びその他に含めております未払費用が1億66百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は159億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億21百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等に伴い繰延税金負債が11億8百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は549億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億64百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が11億79百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が25億59百万円減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は28億78百万円(前年同期間比117.4%増)となり、前連結会計年度末と比較して10億48百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は18億18百万円の収入(前年同期間は18億59百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を18億80百万円計上したこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6億5百万円の支出(前年同期間は7億71百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5億78百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は1億64百万円の支出(前年同期間は5億76百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額1億23百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年9月17日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,834,393	2,882,848
受取手形及び売掛金	3,843,785	3,446,926
商品及び製品	161,714	233,035
仕掛品	122,785	114,013
原材料及び貯蔵品	1,174,784	1,198,189
その他	148,766	259,419
貸倒引当金	△76,835	△76,905
流動資産合計	7,209,395	8,057,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,217,186	4,146,933
その他(純額)	4,074,966	4,153,071
有形固定資産合計	8,292,153	8,300,005
無形固定資産		
	98,687	88,251
投資その他の資産		
投資有価証券	59,495,500	55,845,305
その他	1,458,852	1,399,935
貸倒引当金	△29,106	△29,151
投資その他の資産合計	60,925,246	57,216,090
固定資産合計	69,316,086	65,604,346
資産合計	76,525,482	73,661,873
負債の部		
流動負債		
買掛金	772,541	691,260
未払法人税等	268,196	311,719
賞与引当金	295,597	226,926
その他	1,765,789	1,494,491
流動負債合計	3,102,125	2,724,398
固定負債		
退職給付に係る負債	1,162,953	1,167,383
繰延税金負債	15,462,078	14,353,763
その他	475,454	457,724
固定負債合計	17,100,487	15,978,871
負債合計	20,202,612	18,703,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	13,660,997	14,840,367
自己株式	△1,066,406	△1,066,406
株主資本合計	16,088,590	17,267,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,312,058	37,752,756
退職給付に係る調整累計額	△77,779	△62,113
その他の包括利益累計額合計	40,234,278	37,690,642
純資産合計	56,322,869	54,958,603
負債純資産合計	76,525,482	73,661,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	11,202,531	10,854,337
売上原価	7,111,952	6,838,555
売上総利益	4,090,578	4,015,781
販売費及び一般管理費	4,191,272	4,010,749
営業利益又は営業損失(△)	△100,694	5,032
営業外収益		
受取利息	21,971	19,197
受取配当金	1,431,628	1,853,070
その他	93,204	45,265
営業外収益合計	1,546,803	1,917,532
営業外費用		
支払利息	1,357	341
たな卸資産廃棄損	2,658	4,202
休止固定資産費用	15,125	14,815
その他	2,070	2,922
営業外費用合計	21,212	22,282
経常利益	1,424,897	1,900,282
特別利益		
固定資産売却益	14	199
投資有価証券売却益	632	6
特別利益合計	646	206
特別損失		
固定資産除却損	41,338	19,944
特別損失合計	41,338	19,944
税金等調整前四半期純利益	1,384,206	1,880,544
法人税、住民税及び事業税	395,713	545,678
法人税等調整額	27,431	31,711
法人税等合計	423,144	577,389
四半期純利益	961,061	1,303,154
親会社株主に帰属する四半期純利益	961,061	1,303,154

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	961,061	1,303,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,619,580	△2,559,301
退職給付に係る調整額	8,301	15,666
その他の包括利益合計	4,627,881	△2,543,635
四半期包括利益	5,588,943	△1,240,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,588,943	△1,240,480
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,384,206	1,880,544
減価償却費	542,133	552,114
貸倒引当金の増減額(△は減少)	412	115
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,782	△68,671
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,659	4,430
投資有価証券売却損益(△は益)	△632	△6
受取利息及び受取配当金	△1,453,599	△1,872,267
支払利息	1,357	341
持分法による投資損益(△は益)	△4,769	2,135
売上債権の増減額(△は増加)	527,787	396,858
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,650	△85,953
仕入債務の増減額(△は減少)	△67,317	△81,280
その他	△148,646	△262,819
小計	781,158	465,541
利息及び配当金の受取額	1,440,384	1,861,567
利息の支払額	△1,363	△548
法人税等の支払額	△360,750	△508,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,859,429	1,818,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△757,872	△578,494
有形固定資産の売却による収入	20	200
無形固定資産の取得による支出	△4,100	△2,990
投資有価証券の取得による支出	△3,647	△24,113
投資有価証券の売却による収入	1,786	35
関係会社貸付けによる支出	△76,000	△76,000
関係会社貸付金の回収による収入	76,000	76,000
貸付けによる支出	△189,869	—
貸付金の回収による収入	182,221	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△771,462	△605,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△541,550	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△17,000
配当金の支払額	△112,400	△123,574
その他	△22,333	△24,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576,284	△164,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	511,682	1,048,454
現金及び現金同等物の期首残高	804,553	1,830,392
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,889	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,324,125	2,878,847

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。